

報道関係者各位

2026 年 7 月 27 日
株式会社内田洋行

内田洋行、クマヒラ、Siba Service が協業し、「スマホ学生証」とセキュリティゲートを連携した入退室管理ソリューションを全国展開 ～大学 DX を支える ICT 基盤と安全・安心なキャンパス環境を実現～

株式会社内田洋行(本社:東京都中央区、代表取締役社長:大久保 昇)は、株式会社クマヒラ(代表取締役社長:瀧口 研 以下、クマヒラ)、株式会社 Siba Service(代表取締役社長:芝辻 裕太 以下、Siba Service)と協業し、スマホ学生証機能を備えた統合ポータルサービス「Knowledge Portal」と、クマヒラの入退室管理システム「GG-2」によって制御されるセキュリティゲート・電気錠を連携した大学向けキャンパスセキュリティソリューションを、全国の大学へ向けて本格展開します。これにより、学生・教職員は日常的に利用するスマートフォンを学生証・職員証として活用し、校舎や研究室、図書館などの施設へ、セキュリティゲート等を通じて安全かつスムーズに入退室できる環境を実現します。大学における学生サービスの利便性向上に加え、施設管理業務の効率化やキャンパス全体のセキュリティ強化にも貢献します。



クマヒラの入退室管理システム「GG-2」とスマホ学生証の連携 城西国際大学様

3 社のそれぞれの強みを生かした連携

内田洋行は、高等教育分野において、情報ネットワーク、学修空間、学内情報システムなど、学校環境全体を支える大学 DX を長年にわたり総合的に支援してきました。その一環として、開発パートナーである Siba Service と連携し、学生向け統合ポータルサービス「Knowledge Portal」の導入企画、運用支援を行っています。

今回連携する「Knowledge Portal」の機能である「スマホ学生証」は、学生が物理カードを持ち歩くことなく、スマートフォン一つで本人確認や学生証の提示を行えるデジタル学生証サービスとして 2021 年より提供を開始し、関連ソリューションを含め国内 20 大学以上で活用されています。学生サービスのデジタル化が進む中、多くの大学から「スマホ学生証を入退室認証にも活用したい」「セキュリティゲートや電気錠ともシームレスに連携したい」といった要望が寄せられていました。

こうしたニーズに応えるため、内田洋行は、大学向けセキュリティシステムで豊富な導入実績を持つクマヒラと協業いたしました。クマヒラは 1898 年に創業し、入退室管理システム、鍵管理システムなど、カードリーダーに代表さ

れる本人確認端末により、あらかじめ設定された権限のある人物に限定して扉の通行や鍵の取出しを行わせることができる物理セキュリティ製品を提供する、トータルセキュリティ企業です。主力製品である入退室管理システム「GG-2」は、金融機関をはじめ、官公庁や教育機関や多くの大学施設に導入され、安全・安心なキャンパス運営を支えています。

今回の協業により、学生・教職員はスマートフォンを入退室認証媒体として利用できるようになりました。従来磁気カードや IC カードが中心だった本人確認を、より利便性の高い「スマホ学生証/職員証」で置き換えることが可能となり、利用者にとってより使いやすい形で、物理セキュリティの構築を実現します。

内田洋行は、大学ごとの ICT 環境や運用に合わせたシステム運用支援を担い、大学 DX を支える情報基盤と高度な物理セキュリティを融合した新たなキャンパスセキュリティを提供します。

既存のセキュリティゲートに認証リーダーを設置し、「スマホ学生証」が利用可能に

Siba Service が開発した専用 QR コード認証リーダーと GG-2 との接続検証を実施しており、既に GG-2 を導入している大学では、既存のセキュリティゲートや電気錠に専用 QR コード認証リーダーを追加設置することで、「スマホ学生証」による入退室認証を利用できます。「Knowledge Portal」を導入している大学でも、GG-2 による入退室管理システムとセキュリティゲートや電気錠、専用 QR コード認証リーダーを組み合わせることで、現在利用している「スマホ学生証」を施設の入退室認証に活用できます。これにより、既存設備を有効活用しながら設備更新に伴うコストや工期を抑え、新設キャンパスだけでなく既存キャンパスにも導入しやすい拡張性の高いソリューションを提供します。

導入事例 城西国際大学様 千葉東金・東京紀尾井町キャンパス



城西国際大学 千葉東金キャンパス

城西国際大学様は、千葉県東金市および東京都千代田区紀尾井町にキャンパスを構え、「国際社会で生きる人間としての人格形成」を教育理念に掲げ、教育・研究活動のデジタル化や学修環境の充実を積極的に推進されています。千葉東金キャンパスおよび東京紀尾井町キャンパスでは、学生サービスのデジタル化とキャンパスの安全性向上を両立するため、学生証のデジタル化とセキュリティゲートを含む入退館管理システムを連携させた新たな認証基盤を構築しました。千葉東金キャンパスでは図書館および校舎内の一部施設、東京紀尾井町キャンパスでは図書館に本ソリューションを導入しています。

本ソリューションの導入により、学生・教職員はスマートフォン上の「スマホ学生証」を利用して、図書館や校舎内の一部施設のセキュリティゲートを通じた安全かつスムーズな入退館が可能となり、利用者の利便性が大きく向上しました。

クマヒラについて

クマヒラは、1898 年創業のトータルセキュリティ企業です。金融機関向け設備をはじめ、入退室管理システム、セキュリティゲート、録画監視システム、鍵管理システムなど、多彩なセキュリティソリューションを開発・製造から販売、施工、保守まで一貫して提供しています。

Siba Service について

「つながる、伝わる、これからの大学 DX を支える」をコンセプトに、全国の教育現場に向けた ICT ソリューションを提供しています。日本初の大学ポータルアプリ「Knowledge Portal」の開発をはじめ、大学向けクラウドサービス「Knowledge Series」や、小中高校向け ICT 機器導入支援サービスなどを展開しています。

内田洋行について

内田洋行は、高等教育分野において、ICT 学修環境や情報基盤、学修空間の構築をはじめ、学内情報ポータルや証明書発行システムなど、大学 DX を総合的に支援しています。2010 年には未来の学習空間のモデルとして「フューチャークラスルーム®」を設計・開発し、自社拠点をはじめ全国の教育機関へ 1,000 校を超える導入実績を有しています。また、北海道教育大学、東京学芸大学、大阪教育大学など教育機関との包括連携や ICT 人材育成にも取り組んでいます。2025 年の国際学力調査 PISA や文部科学省の CBT システム「MEXCBT」に採用されているテストプラットフォーム「TAO」の開発元であるルクセンブルクの OAT 社を子会社化し、教育データの活用領域にも展開しています。

※QR コードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

※その他、記載している企業の会社名、製品名などは、各社の商標または登録商標です。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社内田洋行 広報課 佐藤 将一郎・深澤 琴絵
TEL. 03(3555)4072 FAX. 03(3555)4620